

詩界

第270号

目次

題字 土屋竹雨
表紙絵 福沢一郎

「現代詩への提言」

自分の立ち位置を信じて 山本 みち子 4

他者の中で生きる詩の力 柴崎 聰 8

言葉から私をなくしていくこと、あるいは、風景から私を薄くしていくこと 瀬崎 祐 13

物語る詩への模索 大掛 史子 17

「現代詩」という呼称を止めませんか。 後山 光行 21

「中道」を行く詩の難しさ 秋山 公哉 25

詩が運んでくれた出会いに感謝して 池田 瑛子 29

女性が書いた農民詩 間山 三郎 33

詩誌のデジタル保存について 永井 ますみ 37

地名が揺さぶりをかける 武西 良和 41

街から来た詩——今、ジャック・プレヴェール 左子 真由美 45

『新井豊美全詩集』について——新井豊美さんをお偲びして 渡辺 めぐみ 49

詩の衰退、詩人の絶滅危惧種説が本当でも 熊谷 ユリヤ 53



【特別寄稿】読者として読む、書く 藤井 貞和 58

関西大会（5月・神戸ラッセホール）

大正期という変革の時代——中原中也の詩の背景 佐々木 幹郎 64

国際交流（9月・東京グランドホテル）

ベンガル詩のリズム 国際交流を終えて、今一度ベンガル詩の韻律を概観してみる 丹羽 京子 71

2022年度国際交流 主講演 「ベンガル詩のリズム」に寄せて 谷口 ちかえ 80

例会報告1 5月例会（マリーコンチエルトホール）

八十の詩と歌その周辺——「人々は誰しも歌いたい心を持っている」 飯澤 文夫 84

例会報告2 7月例会（板橋グリーンホール）

シンへの道——呪いと渡り合うために—— 二条 千河 90

詩界アンケート

「あなたの現在の詩の方向性はどのようなものですか。

あなたが目標とする詩人・詩作品に触れてもかまいません。」 94

河合信幸／木村孝夫／酒木裕次郎／国見修二／岩井昭／大房聡実／表口和巳／中尾彰秀／
橋爪さち子／吉田衷平／伊丹悦子／佐々木洋一／南原充士／長瀬一夫／井上嘉明／狩野貞子／
桜川涼子／瀬川紀雄／南邦和／見上司／日笠芙美子／長津功三良／壺阪輝代

詩界フォーラム

詩の評論・研究書・評伝・詩集翻訳書・エッセイ集 101

会員刊行詩集／会員編集発行詩誌 110

編集後記 117